

あさみどりの会 令和元(2019)年度事業報告

令和元年度において、法人の近々の大きな取り組みとして「新法人あさみどりの風の設立（令和2年10月）」と「法人体制の再構築（令和2年4月～10月）」の2点を掲げ準備を進めてきた。新法人あさみどりの風に関しては、令和2年3月の理事会及び評議員会において各理事監事及び評議員の同意を得て、基本財産を含む財産の譲渡に係る議事への承認のもと、設立手続きに入っている。順調に推移すれば5月中に法人設立の認可が下りる予定である。また、法人体制の再構築に関しては、去年度半ばより新しい給与ソフトの導入とともにシュミレーションを重ね、今年度4月より各事業所にて労務の業務を行うに至っている。

各事業所の動きとしては、べにしだの家におけるあらくさ作業室の独立を念頭においた改修工事、わらび福祉園の新事業所（就労継続B型事業所）の改修工事等々、それぞれ中長期にわたる事業計画に基づいた取り組みの一環として実施された。

しかし、年度後半は「新型コロナウイルス」の感染が広がりつつある中、法人の各会議及び行事の中止または縮小、理事会及び評議員会の書面開催への切り替え等があり、次年度の法人及び事業所の各事業への影響が懸念される事態になっている。

以上、今後の事業展開を見据えながらも、新型コロナウイルス禍、国や県市の対応等を見極め、法人の方向性を見失うことなく、その時々における的確な運営（経営）判断をしていくことが次年度における法人としての最重要課題であると考えている。

1 組織強化

(1) 理事会

- ①開催日時 令和元年5月27日（月） 午後6時から8時40分まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席理事 後藤秀爾 島崎徹也 島田修三 追分伸夫 椿 泰廣 畠村善照
出席監事 菅沢 豊 渡邊冬樹
出席施設長 熊谷かの子 鷺見まち子 山本智恵
議 事 第1号議案 令和元(2019)年度予算の一部補正について
第2号議案 平成30年度事業報告について
第3号議案 平成30年度決算について（監事監査報告含む）
第4号議案 定款及び諸規程の改正について
第5号議案 次期役員選任案について
第6号議案 定時評議員会の開催について
第7号議案 その他（理事長先決事項含む）
- ②開催日時 令和元年6月17日（月） 午後6時から6時30分まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席理事 後藤秀爾 島崎徹也 追分伸夫 椿 泰廣 島田修三 熊谷かの子
出席監事 菅沢 豊 渡邊冬樹
第1号議案 理事長の選定について
第2号議案 業務執行理事（専務理事）の選定について
第3号議案 評議員選任・解任委員の選任について
- ③開催日時 令和元年11月18日（月） 午後6時から7時15分まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席理事 後藤秀爾 島崎徹也 追分伸夫 島田修三 椿 泰廣 熊谷かの子
出席監事 菅沢 豊
議 事 第1号議案 令和元年度予算の一部補正について
第2号議案 諸規程の改定について
第3号議案 評議員選任・解任委員の選任及び新監事について
第4号議案 その他（報告事項）
- ④ 新型コロナウイルスの感染拡大により、第4回は書面理事会とする。
＜第1回議事＞

【理事会の決議があったものとみなされた日】

令和2年3月23日（月）

【理事会決議事項についての同意書を提出した理事】

後藤秀爾 島崎徹也 追分伸夫 椿 泰廣 島田修三 熊谷かの子

【理事会決議事項についての確認書を提出した監事】

菅沢 豊 渡邊 勝

【議事事項を提案した者の氏名】

理事長 後藤秀爾

【議事録作成者】

業務執行理事（事務局長） 島崎徹也

議事事項 第1号議案 新型コロナウイルスへの対応について
第2号議案 令和元年度予算一部補正について
第3号議案 令和2年度事業計画について
第4号議案 令和2年度予算について
第5号議案 諸規程の改定について
第6号議案 令和2年度 法人内人事について
第7号議案 さわらび園療育室床改修工事について
第8号議案 評議員会の開催について
第9号議案 その他 報告事項等

<第2回議事>

【理事会の決議があったものとみなされた日】

令和2年3月23日（月）

【理事会決議事項についての同意書を提出した理事】

後藤秀爾 島崎徹也 追分伸夫 椿 泰廣 島田修三

【理事会決議事項についての確認書を提出した監事】

菅沢 豊 渡邊 勝

【議事事項を提案した者の氏名】

理事長 後藤秀爾

【議事録作成者】

業務執行理事（事務局長） 島崎徹也

議事事項 第1号議案 社会福祉法人あさみどりの風の設立手続きの経過について
第2号議案 社会福祉法人あさみどりの風の設立及び今後のスケジュールについて
第3号議案 贈与契約書案、贈与財産目録及び確約書について
第4号議案 財産の贈与にかかる基本財産の処分について

（2）評議員会

①開催日時 令和元年6月14日（金）午後6時から8時まで

開催場所 社会福祉法人あさみどりの会 さわらび園3階カウンセリングルーム

出席評議員 鵜飼信孝 坪内勝彦 野々山郁 綱木みどり 浅井 勉 青山達雄

欠席評議員 森 弘典 手嶋雅史

出席理事 島崎徹也、追分伸夫

出席監事 渡邊冬樹

出席施設長 鷺見まち子 山本智恵

議 事 第1号議案 令和元年度予算の一部補正について

第2号議案 平成30年度事業報告について

第3号議案 平成30年度決算について（監事監査報告含む）

第4号議案 定款及び諸規程の改正について

第5号議案 役員任期満了による改選について

第6号議案 その他（理事長先決事項含む）

②開催日時 令和元年11月30日（土）午後4時から5時まで

開催場所 東京第一ホテル錦 3階レジエロ

出席評議員 鵜飼信孝 浅井 勉 綱木みどり 青山達雄 手嶋雅史 森 典彦 野々山郁
欠席評議員 坪内勝彦 出席理事 島崎徹也、追分伸夫
議 事 第1号議案 令和元年度予算一部補正について
第2号議案 諸規程の改定について
第3号議案 新監事の選任及び評議員選任・解任委員について
第4号議案 その他（報告事項）

③新型コロナウイルスの感染拡大により、第3回は書面評議員会とする。

【評議員会の決議があったものとみなされた日】

令和2年3月31日（月）

【評議員会決議事項についての同意書を提出した評議員】

鵜飼信孝 浅井 勉 綱木みどり 青山達雄 手嶋雅史 森 典彦 野々山郁
坪内勝彦

【議事事項を提案した者の氏名】

理事長 後藤秀爾

【議事録作成者】

業務執行理事（事務局長） 島崎徹也

議事事項 第1号議案 新型コロナウイルスへの対応について
第2号議案 令和元年度予算一部補正について
第3号議案 令和2年度事業計画について
第4号議案 令和2年度予算について
第5号議案 諸規程の改定について
第6号議案 令和2年度 法人内人事について
第7号議案 さわらび園療育室床改修工事について
第8号議案 新法人「あさみどりの風」設立について
第9号議案 その他 報告事項等

(3) 施設長会<全14回開催>

4月12日、5月15日、6月7日、7月9日、8月7日、9月10日、10月17日
11月13日、11月24日、12月19日、1月16日、1月19日、2月25日
3月11日、

(4) 施設長・主任会<全3回開催>

5月9日、11月7日、1月23日

(5) 職種別部会

支援スタッフ部会：委員会活動にて（療育援助編集会議は広報委員会及び施設長会にて）

共同生活事業所スタッフ部会：10回開催

事務担当者部会：3回開催

居宅介護・相談支援スタッフ部会／給食担当者部会：開催無

(6) 委員会

①ボランティア育成委員会：18回開催（ボランティアスクール企画会議含む）

②療育研究活動委員会：7回開催

③広報委員会：5回開催

(7) プロジェクト会議

CA会議（Challenged Approach・障害者雇用準備会議）：5回開催

2 事業

(1) 社会福祉事業（各事業所報告参照…P9～）

(2) 公益を目的とする事業

ア) 療育援助事業

既存の諸制度の網の目からもれた部分等で、援助を必要とする障害児(者)および家族・団体への援助を行い、家庭療育・地域療育の促進をはかるため次の事業を実施した。

① 療育相談

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	4	9	4	6	1	8	11	10	6	4	3	8	74
わらび福祉園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
べにしだの家	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
れいんぼうワーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	9	4	6	1	8	11	10	6	4	3	8	74

①-2 年齢別内訳

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
6歳未満	3	5	4	4	0	8	11	10	6	4	3	8	66
6歳以上	1	4	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	8
計	4	9	4	6	1	8	11	10	6	4	3	8	74

② 在宅心身障害児の家庭療育援助および各地療育グループの援助

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	8	19	27	17	24	14	29	17	26	13	24	21	239
対象人数	56	29	218	50	80	36	113	54	57	51	122	38	904
援助者数	30	84	170	103	188	77	159	78	144	34	97	100	1264

【療育グループ活動状況（7団体）】

グループ名	主な活動	代表者
同朋大学心身障害福祉研究会	つぼみの会・千種青年学級・千種区手をつなぐ育成会等における療育援助活動	川村浩市
新池子どもクラブ ボランティア	地域の小中学生及び障害児を対象とした療育援助活動	渡邊友子
南山大学ボランティアサークル	児童養護施設溢愛館・若水授産所・フロアバレー・あさみどりの会等における療育援助活動	富田安美
椙山女学園大学 うえるかむ	あさみどりの会等における療育援助活動	佐藤留菜
婦人ボランティア さわらびグループ	さわらび園における療育援助活動	芦田かよ子
なないろコンサート実行委員会	なないろ（福祉）コンサートの企画、開催	丹下 靖
ボランティアスクール企画委員会	ボランティアスクール（全5講）の企画、開催	伊東宏崇

③ 療育グループ

③-1 学童療育グループ（しんいけ子どもクラブ等でのフォローを含む）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	12	19	17	19	8	18	12	8	12	12	12	0	149
参加人数	94	108	84	79	45	117	79	35	75	67	85	0	868
ボラ参加	6	5	4	14	0	4	0	1	0	0	0	0	34

③-2 乳幼児療育グループ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	6	8	8	5	3	8	10	8	6	8	6	0	76
参加人数	80	93	85	59	12	93	108	92	97	116	52	0	887
ボラ参加	5	9	9	5	9	10	10	10	6	9	8	0	90

④ 母親研修会(心身障害についての基礎学習、年10回 延べ234名)

月日	テーマ	講師（敬称略）	参加人数
4 25	子どもへのまなざし ～親子での歩みの中で～	あさみどりの会 専務理事 島崎徹也	20
5 20	こころもからだもリフレッシュ	レクリエーションコーディネーター 伊藤 玲子	22
6 14	子どもとのコミュニケーションについて	石井クリニック 院長 石井 卓	26
7 11	わが子との歩みを振り返って～体験発表～	さわらび園卒園児のお母さん	28

9	13	子どものことばと遊び	愛知淑徳大学心理学部 教授 後藤秀爾	25
10	18	関係の中のじぶん	人間関係トレーニングトレーナー 小山田奈央	22
11	22	保育の現場からみえる子ども ～繰り返される驚きと、職員の葛藤と喜び～	かわさき保育園 園長 堀井 千代子	23
12	7	きょうだいの想い ～体験発表～	さわらび園卒園児のきょうだい 馬淵 唯	19
1	17	就学に向けて大切なこと	豊田市青少年センターパークとよた 特別支援教育アドバイザー 高村葉子	24
2	13	大人になるということ	名古屋市知的障害者更生相談所 サンハート心理判定員 岡田勢津子	25

イ) ボランティア育成事業

社会人及び学生を対象に、福祉に対する啓発と参加を意図した基礎的、専門的学習の機会を設け、ボランティア実践への方向づけを行うとともに、すでに実践活動に入っているサークル及び個人への支援を行った。

① ボランティア・スクール(年1講、中日新聞社・中日新聞社会事業団共催)

第75回(5講座 受講者38名・延べ参加人数216名)

月日	テーマ	講師(敬称略)	参加人数
10 16	開講☆ボランティア塾!!	先輩ボランティア: 小林葉菜氏 伊藤沙也加氏 聞き手: 伊東宏崇氏	49
10 23	えほんの宅急便 ～ストーリーテラーからの贈り物～	鑑廣みどり氏	36
10 26	Let's volunteer	れいんぼうワークス土曜活動 ボランティア体験	27
10 30	社会を豊かに ～こうありたい地域社会とボランティア～	椋山女学園大学 人間関係学部 教授 谷口 功 氏	13
11 23	えがけ☆多無限の可能性	三重県立特別支援学校北勢きらら学園 卒業生 六鹿 香 氏	47
	交流会		44

② ボランティアグループの育成(サークル助成金)

月日	助成団体	活動回数	助成金額
4 27	同朋大学心身障害福祉研究会 新池子どもクラブボランティア 南山大学ボランティアサークル ボランティアスクール実行委員会 椋山女学園大学うえるかむ なないろコンサート実行委員会	療育援助事業及び ボランティア育成 事業に計上	各サークル 20,000円
前期			
10 随 時	同朋大学心身障害福祉研究会 新池子どもクラブボランティア 南山大学ボランティアサークル ボランティアスクール実行委員会 椋山女学園大学うえるかむ なないろコンサート実行委員会 ボランティアスクール企画委員会	療育援助事業及び ボランティア育成 事業に計上	各サークル 20,000円 ※ボランティアスク ール企画委員会は 30,000円
後期			

③ なないろコンサート(12月2日/会場:べにしだの家/参加者:86名・内ボランティア等30名)

④ あさみどりボランティアサークル連絡協議会

	会議内容	出席者	参加人数
4月27日	<ul style="list-style-type: none"> あさみどりの会のボランティアについて ボランティアサークル、個人ボランティアの紹介 法人各事業所年間行事予定の案内 ボランティアスクールの案内 情報交換 	ボランティアサークル 団体 6名 個人ボランティア 1名 法人職員 8名	15

⑤ ボランティア受入状況（行事参加等も含む）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	14	17	24	77	65	13	64	27	21	20	65	3	410
わらび福祉園	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	11	0	91
べにしだの家	16	21	9	1	1	10	14	37	16	16	20	1	162
あらくさ作業室	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
れいんぼうワークス	6	59	8	10	23	13	20	11	14	5	6	17	192
計	45	105	50	96	98	44	106	83	59	49	102	21	858

⑥ 学校実習・体験実習（障がいのある方等の受入れは除く）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	0	0	30	0	1	4	48	44	32	0	40	30	229
わらび福祉園	0	0	22	9	0	25	12	24	4	0	0	0	96
べにしだの家	0	0	0	27	52	71	57	57	31	14	40	48	397
あらくさ作業室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
れいんぼうワークス	0	0	0	0	27	33	32	20	22	0	0	0	134
計	0	0	52	36	80	133	149	145	89	14	80	78	856

ウ) 地域啓発事業

心身障害問題をはじめ、福祉活動に地域住民が直接参加し、また学ぶ機会を持つことによりコミュニティ・ケアの担い手となる人々の輪が広がっていくよう働きかけを行った。

① 機関誌『療育援助』の発行（月1回） □発行回数12回 □発行部数 毎回1,500部

配布数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
郵送数	418	417	417	417	419	419	420	420	418	425	425	424	5039
手渡数	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	6240

② 第57回心身障害問題を考える集い

「援け合いのある社会へ」ウインクあいち

月日	テ ー マ	講 師（敬称略）	参加人数
6 22	逃げ遅れた人たちにも優しい社会であるために	奥田知志氏（NPO法人抱樞 理事長）	48

③ 第13回フォーラムあさみどり

月日	テ ー マ	講 師（敬称略）	参加人数
5 19	私たちが想う真の福祉社会とは	秋吉美果（べにしだの家主任）・田中雅樹（れいんぼうワークス主任） 平野飛鳥（さわらび園主任）・柿下大悟（わらび福祉園主任） ＜聞き手：山本智恵（さわらび園園長）＞	45

④ れいんぼう祭 5月26日／ボラ57名

⑤ しんいけ盆おどり 7月20日／ボラ59名／会場：さわらび園

⑥ さわらび運動会 10月 6日／ボラ48名／会場：さわらび園横どんぐり広場

⑦ わらび秋まつり 10月12日／ボラ 0名

⑧ べにしだ祭 11月 2日／ボラ27名

⑨ さわらび祭 2月11日／ボラ45名

⑩ しんいけ子どもクラブ 年間7回延べ10日／ボラ46名／参加人数215名

月日	テ ー マ	参加人数	ボラ参加数
5 12	オリエンテーション レクリエーション	37	9
6 16	キャンプ説明会	29	5
7 14	デイキャンプ	33	15
7 25～28	わいわいキャンプ	26	2
10 20	みんなでお出かけ♪	28	4
12 22	クリスマス会	35	8
2 23	お別れ遠足！	27	3

⑪ 施設の地域解放

施設	利用団体	回数
さわらび園	町内会	3
わらび福祉園	町内会・地域包括支援センター	11
べにしだの家	町内会、地域団体、ボーイスカウト、地域住民、音楽グループ、ヨガ教室等	18
(あらくさ)	(実績なし)	
れいんぼうワークス	(実績なし)	

⑫ らいぶ游 (年間4回開催/会場:べにしだの家/延参加者:421名、内ボラ212名)

月日	テーマ	参加人数	ボラ参加数【出演者含む】
6 29	命どう宝 ～沖縄慰霊の日に思い馳せる～	98	47
8 24	TASAI 夕涼み祭	85	51
12 22	クリスマス会	88	47
2 22	はじまり・おわり・またはじまり	150	67

⑬ 障がいのある方の生活を支える支援者養成講座 (見学会含む/5回・受講者全43名)

月日	テーマ	場所・講師	参加人数
2 27	グループホーム見学会・説明会	べにしだ共同生活援助事業所	4
7 27	支援者養成講座	れいんぼう共同生活援助事業所職員、入居者本人	9
9 14	支援者養成講座	べにしだ共同生活援助事業所職員、入居者本人	10
12 7	グループホーム見学会・説明会	わらび共同生活援助事業所	3
1 26・29	グループホーム見学会・説明会	れいんぼう共同生活援助事業所	17

エ) 野外活動事業 (詳細は事業所報告参照)

あさみどりの会研修所「郡上山の家」の運営を通して、人間と自然とのふれあい、合宿による人間同士のふれあいを通して真の人間性の回復をはかった。

さわらび園親子療育キャンプ / わらび福祉園山の家合宿 / あらくさ作業室山の家合宿 / れいんぼうワークス山の家合宿
りとり・ジョイフル親子療育キャンプ / 新池子どもクラブ・サマーキャンプ / 学童合宿

オ) 家族の支援活動

障害をもった子どもの生涯の幸せを願って、計画的に活動する保護者のグループを支援した。5月19日後援会役員会にて各グループの情報交換を行った。又、各事業所で「きょうだい会」年2回(うち1回は成人施設合同)等を行い、家族との交流をはかった。

(3) 職員研修

①法人全体研修

- ア) 4月6日 (会場:さわらび園 70人参加)
 - I) 講演:『今だからこそ、先達の教えを』(迫分専務理事)
『合言葉はダイバーシティ』(後藤理事長)
 - II) グループワーク
- イ) 9月7日 (会場:べにしだの家 77人参加)
 - I) 理事長より II) 各事業所代表による事例発表

②法人が主催または後援する啓発事業参加

フォーラムあさみどり、心身障害者問題を考える集い、ボランティアスクール等職員研修の一環として、職員の参加を勧めた。

③初級職員研修 (7月6日 わらび福祉園 19人参加)

内容: (午前) 体験型プログラム (午後) インシデントプロセス研修、事業所紹介

④ホーム新人世話人研修 (5月11日 べにしだの家 10人参加 講師3名 スタッフ4名)

内容: グループホーム及び障がい(特性含む)について。ホームでの業務について。
てんかん発作について。AED講習。交流他

⑤ 4年目研修 (実施なし)

⑥ 階級別(中級・上級)研修

ア) 宿泊型療育実地研修 各成人事業所より、以下のさわらび園の宿泊プログラムに参加
プログラム：療育G親子療育キャンプ(8/2~4)・小学生合宿(7/13~15)・中学生合宿(9/13~16)

参加人数：各1名(計3名)

イ) インシデント・プロセス研修 さわらび園にて年7回開催/講師：小野宏氏(豊田西病院医師)

参加対象人数：10名

⑦ 発達障害対応研修

○講師：小林信篤氏(横浜やまびこの里)

わらび福祉園：6月28日・29人参加/8月31日・23人参加/1月25日・23人参加

れいんぼうワークス：6月29日・26人参加/8月31日・23人参加/1月24日・21人参加

べにしだの家：6月29日・20人参加/8月30日・18人参加/1月25日・15人参加

⑧ 各施設におけるその他の研修活動 各事業所報告等参照

⑨ 外部研修への参加 各事業所報告等参照

⑩ 社会福祉士・介護福祉士の資格取得の奨励

(4) 苦情処理状況

法人経営の各施設・事業の提供する福祉サービスに対する苦情処理については、平成13年施行の「福祉サービスに関する苦情解決規程」により処理することとしているが、その場で解決するものについてはこの規程を適用せず、関係者に伝達し協議する必要があるものは「苦情処理票」によって処理することとしてきた。令和元年度に、苦情処理票により処理をした件数は下記のとおりである。

		さわらび	わらび	べにしだ	れいんぼう
	苦情処理票等により処理した件数	2	1	2	1
申出者	利用者本人	0	0	0	0
	利用者の家族	1	0	1	1
	近隣住民・その他	1	0	1	0
内容	利用者に対する職員の対応	0	0	1	1
	利用者に対するサービス向上	0	0	0	0
	利用者の生活環境の改善	0	1	1	0
	施設・事業運営に対する不満	0	0	0	0
	その他	2	0	0	0
方法	職員・施設長と解決策を協議	2	1	2	1
	要望どおり解決できないことを説明	0	0	0	0
結果	解決の方法・内容に納得した	1	1	0	1
	解決の方法・内容に不満がある	0	0	0	0
	処理結果を職員に周知する	1	1	2	1

苦情処理した件数はさわらび園については2件、べにしだの家2件、わらび福祉園1件、れいんぼうワークスは1件であった。

各施設とも苦情処理票によらない苦情についても職員に周知し、同様の問題が起きないように対処していくとともに、ヒヤリハット等の取り組みも継続していきながら、職員一人ひとりの意識向上を図っている。

1. 総括

【さわらび園】

さわらび園は母子通園の形態をとっていることもあって、児童発達支援事業の利用児は名古屋市全域が対象であるが、近年は千種区・名東区在住の児童がほとんどを占めるようになってきている。このことは、保育園や幼稚園での障害児の受け入れが広がってきていることや、市内の児童発達支援事業所の増加、また市外についても身近な地域で療育（発達支援）を受けることができる環境が徐々に整ってきている証しと言える。

今年度は年度途中での園児の入れ替わりがあったり、園を休みがちでなかなか登園につながらない家庭に対する支援も必要であったため、電話相談や家庭訪問などの対応もとりながら支援を継続した。また、10月より国の幼児教育の無償化が実施され、3歳児から5歳児までの子どもの利用料の自己負担が無料となった。保護者の費用負担は軽減されたが、そのことにより、保護者が子どもにとって本来必要な支援や環境をどう選択していくかという難しさも出てくる。そういった意味でも、保護者への相談機能がこれまで以上に重要になってくるため、職員の保護者対応のスキルも求められてくる。児童福祉法改正後に事業が増えたことで、各事業の主軸となって動く中堅やベテランの職員が分散されたことによって、療育現場において若い職員がしっかりと学ぶ環境が十分に作れていない状況がある。事業所内外での研修に加えて、次年度は療育現場でのOJTを意識した研修プログラムを工夫していきたい。

保育所等訪問支援事業については、実践を重ねたことで、支援に入った園から訪問支援の利用を保護者にすすめたいという相談等も徐々に出てきている。

障害児相談支援事業については、区の自立支援協議会で福祉フェスタの企画運営に携わり、事業所間の連携や地域への啓発活動にも動きがあった一年であった。

学齢期の支援については、放課後等デイサービス事業の創設以降、地域のデイサービスを利用する卒園児も増えてきている。その中で、さわらび園で行っている学童療育の意味合いや目的を再確認しながら、本人への発達支援にとどまらず、保護者へのフィードバックを意識し、保護者が子どもの将来への展望をもって取り組める道筋をつくることに力を入れていきたい。

また、2月後半からは新型コロナウイルスの感染防止への対応により、3月は各事業共に様々なことを縮小や中止せざるを得ない状況で年度末を迎えた。

【べにしだの家】

利用者状況に関しては、特に3年ほど前にアルツハイマー型認知症の診断を受けた3名の利用者の内、60歳男性利用者の機能低下が年度途中から急激に進んできており、本人の日々の状況に寄り添いながら生活意欲の向上、維持に向けた丁寧な対応を心掛けている。

利用者の状況変化に伴い、生活介護では総体的に日中の主たる活動を状況に応じてバリエーション豊かにしていくことがこの先の当面の課題と認識している。従来の作業活動以外に音楽活動の実施を月3回に増やし、ボッチャは月2回の定期で行う以外にも作業室単位で随時取り入れ、利用者にとってもなじみの活動になってきた。また、これまでの利用者の絵画作品を愛知県主催の「あいちアールブリュット作品展」と愛知県知的障害者福祉協会主催の「ぼくらのアート展」に応募した。年度後半には「エンジョイタイム」と称して日中の絵画活動に取り組み始めている。クリーニング室は担当職員の体調不良のため一時休止に陥ったことを契機に、外部一般顧客の受付は5月末をもって終了した。一時休止していた植物栽培装置「おあしすくん」が再起動し、年度末さわらび園の卒園式に合わせてチューリップを栽培、送り届けることができた。来年度は装置をクリーニング室に移設し、窓口の活動としての基盤を作っていきたいと考えている。

あらくさ作業室は近い将来の独立を見据え、大規模な改修を実施した。本格的には来年度からとなるがフロアごとに活動エリアを分け、支援体制を整えて特徴である製パン活動の活性化が期待できる環境整備ができた。

入所支援、共同生活援助は、共に利用者個々の特性に配慮しながら丁寧な個別対応に努め、総体的には穏やかな生活を提供できている。入所については地域移行に向けた施設という本来の目的に鑑み、近い将来ホームに転用していくことを目指していきたい。

相談支援事業は3月末時点で契約件数143件（べにしだ・あらくさ69件/れいんぼう26件/地域

48件)である。昨年度報酬改定に伴うモニタリング期間の変更を受けて月平均10件モニタリングが増え、緊急対応やサービス変更もあるため、地域からの新規の計画相談依頼は受けられていない。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月以降サービス提供の形態変更や各種活動、会議、研修等の縮小、中止を余儀なくされている。

【わらび福祉園】

生活介護事業については、研修で学んだことを活かし、より一人ひとりに合った個別な対応ができるよう、活動環境の見直し・改善を図った。作業面では、主となっていた下請け作業量が減少し、収入も減っているが、自主生産においては、販路も拡がり売り上げも増加した。作業以外の活動として、ヒップホップダンスや音楽療法は継続している。身体を動かすプログラムとして、市内の関係機関と連携し活動を始めるところであったが、新型コロナウイルスの関係で保留となっている。また、経験を重ねた利用者の方の就労継続B型への移行について検討した。

就労継続B型事業については、下請け作業の作業量低下が続いている中、それぞれの力が発揮でき、やりがいを持って働ける場として、みよし市役所前に新規にうどん店を開店することにし、みよし市の助成金を申請し、建物の改築を行った。また、それに向けて調理・接客の練習も始めている。

共同生活援助事業については、利用者は6月から1名増え、定員29名となった。発熱等はあったものの、概ね各々のペースで、大きな病気やケガ等もなくすごしていた。しかし、2月以降徐々に新型コロナウイルス感染予防のため、移動支援等の外出機会が大幅に減ってしまい、運動不足・ストレス発散の機会が課題となった。職員体制としては有期契約職員から正規職員へと1名変更した他、見学会の参加者等で数名の有期契約職員を増員した。しかし、契約時間の変更等があり、9月から宿直体制を始め、夜間支援体制が整うことができた。

居宅介護事業、移動支援事業については、身体や精神に障害がある方の利用希望が増えてきたこともあり、求められるサービスに対し、対応できるヘルパーが足りなく、慢性的な人手不足が懸念されている。そこで、市内他事業所と共に人材確保のために、みよし市役所・みよし市障がい者自立支援協議会の協力を得てみよし市独自の移動支援従事者養成研修を開催した。研修参加者は主に各事業所の有期契約職員であったが、11名参加し、実際に登録ヘルパーとして4名が契約するに至った。新型コロナウイルス感染が広がってからは、移動支援を控えることも多く、利用件数は激減した。

相談支援事業については、週1回みよし市くらし・はたらく相談センターに在中。8050問題や高齢障がい者の相談が増えてきており、地域包括支援センターと連携して支援をすることが多くあった。昨年度に引き続き生活困窮相談員や就労支援員と協同で支援するケースも増えてきている。自立支援協議会においては、市内5事業所の担当者で人材育成を目的とした研修委員を結成。障がい福祉事業所や専門機関・行政を巻き込んだ研修会を企画・実施した。暮らしの場検討チームが新しく発足し、地域生活支援拠点の考えを念頭に置いて、緊急時や宿泊体験について検討を行っている。

地域とのつながりとしては、みよし市社協との連携で開催している「わらびカフェ」は、毎月近隣の多くの高齢者が参加している。それを機会に「わらびカフェ」とは別に、高齢者の憩いの場に貸して欲しいとの話も合った。しかし、3月は新型コロナウイルス感染予防のため開催を見送った。また、「わらび秋まつり」は台風のため1時間のみの開催であったが、近隣の多くの方が集まっていた。

全体として、新型コロナウイルスの感染予防対策として、利用者への様々な対応の変化が生まれている。また、会議、研修等の縮小、中止を余儀なくされている。

【れいんぼうワークス】

生活介護事業所については、クリーニングはドライクリーニングを6月末、水洗いのクリーニングを3月末と段階的に終了した。れいんぼうワークスの主の事業を農作業に移行するためでもあったが、立ち上げから17年間生産活動の柱として利用者の工賃を支えてきた事業であった。自動車部品の検品等内職作業については、ねじのはめ込み作業がなくなり、ゴムのバリ取り作業は安定的な作業になってきた。自主製品については、刺繍製品はコンスタントに売り上げを伸ばし、また新たに利用者の描いたイラストを用いたTシャツ制作も始めた。農作業では農福連携で幅広く活動している全国自然栽培パーティに加入し、勉強会や全国研修に参加するなどした。また直接畑にて栽培指導を受けることもでき、これまでの畑づくりを大きく見直していくことになった。3月末には中古で自前のトラクターを購入し、畑の整備に活用している。売上げとしてはクリーニング事業縮小もあり、減少した。現状として工賃の見直しの検討が必要となっている。

共同生活援助事業所では、毎年続けてきた支援者養成講座を7月に、それより短時間で参加し

やすいホーム見学会を2月に行い、ともに多数の参加者を得、支援者確保につなげることができた。1年を通して体調を大きく崩す方もなく、支援者の入れ替わりもあったがおおむね穏やかに過ごすことができた。

春にワークスの南側に東屋を建て、アプローチの小道の脇には花を植え、来所する方に憩いを感じてもらえる場とすることができた。れいんぼう祭では舞台としても利用、野外での作業にも活用している。

地域とのつながりという点では海部圏域グループホーム研修という企画を他事業所とともに立ち上げたり、発達障害対応研修に地域の他事業所が参加したりと少しずつだが交流ができてつある。

職員体制としては4月に1名少ない体制でのスタートとなったが、日中職員とホーム職員との連携協力によりれいんぼう全体として支援にあたることができた。また3月以降新型コロナウイルスの感染拡大防止による各種活動の縮小、中止を余儀なくされ、利用者、職員、家族にとっても負担が増す状況となっている。

2. さわらび園の事業状況

(1) 障害児通所支援事業

1) 児童発達支援事業（園児）

①利用状況

○年齢・男女別（中途退園・入園を含む）

学年齢	1才	2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男		1	7	8	7	23
	女	1	2	2	2	3	10
計	1	3	9	10	10	33	33

○月初日在籍数・開所日数・利用延べ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	28	28	28	30	28	28	28	29	29	30	30	31	347
日数	18	18	19	21	15	18	17	18	18	18	19	20	219
人数	426	418	439	443	213	425	425	394	413	453	457	445	4951

○主な障害 <ASD=自閉スペクトラム症>

障害名	男	女	計
ASD・知的障害	14	5	19
ADHD	1	1	2
知的障害	5	3	8
ダウン症	3		3
運動発達遅滞		1	1
計	23	10	33

○通園区域別

名古屋市					
通園区域	人数	通園区域	人数	通園区域	人数
千種区	15	名東区	13	守山区	2
東区	1	瑞穂区	1	天白区	1

○K式発達検査実施状況（検査実施児童のみ）

DQ	20以下	21～35	36～50	51～74	75以上
人数	1	4	4	6	3

②令和元年度新入園児状況<途中入園も含む>

○年齢・男女別

学年齢	1才	2才	3才	4才	小計	総計
市	男	1	3	2	6	11
	女	1	2	1	5	
計	1	3	4	3	11	11

○主な障害

障害名	男	女	計
ASD・知的障害	3	2	5
ADHD	1	1	2
知的障害	2	1	3
運動発達遅滞		1	1
計	6	5	11

③令和元年度卒退園児状況（進路先・男女別）

進路先		特別支援学級	特別支援学校	保育園	児童発達支援センター	計
市	男	7			1	8
	女	1	1	1		3
計		8	1	1	1	11

④主な実施行事

4月		5月		6月	
3日	入園式・第1期始業式	13日	新入園児歓迎会	1～2日	宿泊療育①
26日	こどもの日行事	17日	春の遠足（東山動物園）	8～9日	宿泊療育②
				18日	健康診断
				23日	父親参観日
7月		8月		9月	
5日	七夕行事 <家庭訪問/夏期療育>	8日～11日	親子療育キャンプ①		
		22日～25日	親子療育キャンプ②		
10月		11月		12月	
6日	さわらび運動会	9～10日	宿泊療育①	3日	わらび福祉園見学②
10日	第2期始業式	16～17日	宿泊療育②	16日	報恩講
25日	秋の遠足	26日	健康診断	25日	クリスマス会
27日	父親参観日	28日	わらび福祉園見学①		
1月		2月		3月	
10日	もちつき	11日	さわらび祭	7日	学習発表会
31日	節分行事			20日	卒園式
				27日	療育終了日

*その他：誕生会・歯科検診/月1回、母親研修会/年10回

<主な行事の参加状況>

ア) 親子宿泊療育<さわらび園にて実施>

○春の宿泊療育参加状況

第1回目 6/1(土)～2(日)

- ・参加対象：ぞう・パンダG
- ・参加母子：園児13名/母親13名
- ・その他：ボランティア2名
- ・職員：15名 <総数43名>

第2回目 6/8(土)～9(日)

- ・参加対象：きりん・コアラG
- ・参加母子：園児15名/母親15名
- ・その他：ボランティア1名
- ・職員：16名 <総数47名>

○秋の宿泊療育参加状況

第1回目 11/9(土)～10(日)

- ・参加対象：ぞう・パンダG
- ・参加母子：園児13名/母親12名
- ・その他：ボランティア1名/実習生4名
- ・職員：16名 <総数46名>

第2回目 11/16(土)～17(日)

- ・参加対象：きりん・コアラG
- ・参加母子：園児12名/母親11名
- ・その他：ボランティア3名
- ・職員：16名 <総数42名>

イ) さわらび親子療育キャンプ<岐阜県郡上市大和町小間見545「郡上山の家」にて>

- ・日時：第1キャンプ 8/8(木)～11(日)・第2キャンプ 8/22(木)～25(日)
- ・保護者研修：(第1キャンプ)熊谷かの子氏 / (第2キャンプ)追分伸夫氏
- ・参加状況

	園児	母親	父親	兄弟	Vo	職員	その他	計
第1	11	11	9	14	21	13	1	80
第2	12	12	12	5	24	13	2	80
計	23	23	21	19	45	26	3	160

⑤保護者の学習

○母親の学習

・母親グループカウンセリング

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	5	8	10	5	4	7	5	6	4	8	4		66
延人数	55	83	118	52	46	77	58	72	39	87	43		730

・その他：母親研修会(年10回)/宿泊療育、キャンプ/発達相談(園児実施/17名)/ビデオによる療育説明(年4回実施)

○父親の学習

・父親参観日：6月23日(日)/参加人数：25名/療育参観及び職員との話し合い

10月27日(日)/参加人数：19名/講師：畑中雅生さん(H20年度卒園児父親)、國分栄治さん(H28年度卒園児父親)

・その他：親子療育キャンプ父親研修/フォーラムあさみどり(5月19日(日))

各父親のグループ主催のイベント、学習会への参加

⑥その他(訪問による連携) 特別支援学級5回/特別支援学校1回

2) 保育所等訪問支援事業

〈利用状況〉

○契約者数(年齢・男女別)

学年齢		3才	4才	5才	計
市	男	1	4	4	9
	女				
計		1	4	4	9

○月別訪問件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問		8	7	7	4	8	10	13	14	13	17	15	116
事前	2	1					2	1		1			7

○訪問先

訪問先	保育園	幼稚園
箇所数	8	1

(2) 障害児相談支援事業【利用状況】

○契約者数(年齢・男女別)

学年齢		0	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	計
市	男	3	1	8	15	18	12	14	9	10	5	6	5	1	107
	女	1	3	2	2	5	7	7	4	5	3	2	1	1	43
計		4	4	10	17	23	19	21	13	15	8	8	6	2	150

○月別相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本計画	42	8	10	8	4	13	9	8	7	11	4	5	129
モニタリング	9	6	10	18	15	14	6	9	13	10	11	8	129
基本相談	4	7	9	5	1	5	13	4	3	7	7	4	69
事業所連携	19	25	18	13	6	21	15	21	11	18	8	11	186
計	74	46	47	44	26	53	43	42	34	46	30	28	513

(3) 療育グループ事業

1) りとるぐるっぷの状況 *令和元年度利用者は32名。園児への移行は4名。内、入園決定後のグループ移行は3名。

○年齢・男女別

学年齢		0才	1才	2才	3才	小計	総計
市	男		10	15		25	32
	女		3	4		7	
計			13	19		32	

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	11	13	11	12	12	13	17	19	22	24	23	25

○通園区分（令和元年度利用者）

区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数
千種区	11	名東区	19	守山区	1	北区	1

○主な障害（令和元年度利用者）

障害名	男	女	計
ASD（疑い含む）	4		4
ADHD（疑い含む）	4	1	5
知的障害	3	1	4
言語発達遅滞	5	1	6
定型発達	1	1	2
未受診	8	3	11
計	25	7	32

○療育回数及び出席延人数（8月はキャンプ：日数・参加人数／延べ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	3	4	4	3	3	4	5	4	3	4	3	0	40
延人数	31	48	38	20	0	48	61	48	49	66	28		437

○母親グループカウンセリング（8月はキャンプ：回数・参加人数／延べ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数		1	1			1	1	1	1	1	1	0	8
延人数		12	10			11	13	10	4	10	4		74

2) 親子教室「ジョイフル」の状況 *令和元年度利用者は38名。内、園児への移行は0名。

○年齢・男女別

学年齢		2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男	1	10	13	8	32	37
	女		4	1		5	
県	男				1	1	1
	女						
計		1	14	14	8	38	38

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	31	30	30	30	30	31	32	32	31	31	31	31
県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

○通園区分（令和元年度利用者）

区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数
千種区	16	名東区	17	東区	1	岐阜市	1
中区	1	昭和区	1	緑区	1		

○主な障害（令和元年度利用者）

障害名	男	女	計
ASD	13	2	15
ADHD	8		8
知的障害	4		4
境界域	1	1	2
言語発達遅滞	3	1	4
発達性運動協調障害	1	1	2
不明	1		1
未受診	2		2
計	33	5	38

○療育回数及び出席延人数（8月はキャンプ：日数・参加人数／延べ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	3	4	4	3	3	4	5	4	3	4	3	0	40
延人数	50	46	47	40	15	46	49	45	49	51	24		462

○母親グループカウンセリング（8月はキャンプ：回数・参加人数／延べ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数			2		1	1	1	4		1	1	0	11
延人数			23		7	14	8	44		12	12		120

【年間実施行事（りとるぐるうぷ(L)・親子教室ジョイフル(JA/JB)】

4月		5月		7月	
10日 始業式(L/J)				3日 七夕行事	
24日 こどもの日行事					
8月		10月		12月	
2日～4日 親子療育キャンプ		6日 さわらび運動会		18日 クリスマス会	
		16日 第2期始業式(L)			
1月		2月		3月	
29日 節分行事		11日 さわらび祭		13日 終業式(L/J)←中止	

【りとる・ジョイフル親子療育キャンプ参加状況】

日時：8/2(金)～4(日) 場所：岐阜県郡上市大和町小間見545郡上山の家 保護者研修：島崎徹也

参加者	児童	母親	父親	兄弟	Vo	職員	その他	計
人数	9	7	6	6	9	14	3	54

3) 学童療育の状況

○年齢・男女別

学年		1	2	3	4	5	6	中1	中2	中3	小計	総計
市	男	7	2	6	5		6	4	3	5	38	54
	女	1	3	5	2	1	2		2		16	
県	男						1				1	1
	女											
計		8	5	11	7	1	9	4	5	5	55	55

○30年度新規学童入所 ・名古屋市 8名

○療育(放課後クラブ含む)およびグループカウンセリングの実施状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
療育	回数	1	4	4		3	4	3		3	4	3	0	29
	人数	39	36	36		12	25	41		38	29	35		291
G	回数	2	3	3	2	1	3	3	3	3	3	1	0	27
	人数	10	24	18	13	4	16	11	12	14	16	9		147
クラブ	回数	11	12	10	8	4	8	7	8	6	7	10	0	91
	人数	60	69	50	34	30	51	32	37	27	38	51		479

*8月は療育Gキャンプの数字

○学校種別 ・特別支援学級8名・特別支援学校37名・通常学級10名

○その他 ・8/2～8/4療育Gキャンプに4名の学童が参加

・母親の会合宿（全10回／参加者：児童33名（一部は親子合宿）、職員派遣8名）

・小学生合宿 7/13(土)～15(月・祝) 場所：郡上山の家 参加者：小学生6名、職員3名

・中学生合宿 9/13(金)～16(月・祝) 場所：郡上山の家 参加者：中学生10名、職員3名、ボランティアスタッフ1名

・新池子どもクラブ（月1回・年1回のキャンプ）に3名の児童が参加

・学童療育母親学習会 2/14(金) 参加者：19名

「自立生活に向けて、今、必要なこと」講師：福田由美氏、鈴木智子氏（卒園児保護者）

(4) 職員研修及び職員派遣

1) 職員研修

○施設内研修（法人事業報告参照）

○施設外研修 児童発達支援施設現任職員研修会等・東海地区職員研究大会・全国職員研究大会等
名障連・名古屋市関係：専門研修・基礎研修・中堅職員研修・職種別研修・施設見学等
施設長研修：福祉協会関係・名古屋市及び社会福祉協議会関係・児童発達支援部会関係等

2) 職員派遣

- 名東保健センター（乳幼児発達相談）：毎月第3水曜日午前／心理判定員（平野飛鳥）派遣
- 千種保健センター（親子教室）：毎月第2火曜日午前／心理判定員（大澤夕佳）派遣
- コアラの会（千種区親の会）：毎月第2木曜日午前／相談員（渡邊友子）派遣
- 千種区障害者自立支援連絡協議会定例会及び子ども部会：毎月第2水曜日午前（・毎月第3火曜日午前運営会議）
- 名東区障害者自立支援連絡協議会 そだつ部会（児童部会）：毎月1回
- 父親のグループ（30年度）
 - ・フォルテ（会員：9名／児童年齢：20～29才）…活動：例会・学習会等
 - ・クラブヤジオ（会員：約18名／本人年齢：13～19才）…活動：例会・学習会等
 - ・かたつむり（会員：約20名／本人年齢：9～12才）…活動：例会・学習会等

3. 成人各施設の事業状況

(1) 日中活動利用者状況（令和元年3月31日現在）

1) 日中活動利用者

①年齢層・性別 < () は内65歳以上の利用者>

	年齢層						性別		計
	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	男	女	
わらび福祉園	0	11	12	9	11	1	37	7	44
べにしだの家	0	4	17	33	7	6(3)	41(2)	26(1)	67
れいんぼうワークス	0	7	13	3	0	0	17	6	23
計	0	22	42	45	18	7(3)	95(2)	39(1)	134

②障害支援区分 < () は内65歳以上の利用者>

	障害支援区分						計
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	
わらび福祉園	0	4	11	13	15	1	44
べにしだの家	0	2	15(2)	19(1)	31	0	67
れいんぼうワークス	0	0	3	14	6	0	23
計	0	6	29(2)	46(1)	52	1	134

2) 入所・共同生活援助事業利用者

①年齢層・性別 < () は内65歳以上の利用者>

	年齢層						性別		計
	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	男	女	
わらび共同生活援助事業所	0	1	9	8	10	1	26	3	29
べにしだの家（施設入所支援）	0	1	5	13	3	4(2)	16	10(1)	26
べにしだ共同生活援助事業所	0	0	11	19	6	2(1)	23	14	37
れいんぼう共同生活援助事業所	0	10	17	2	0	0	21	9	30
計	0	12	42	42	19	7(3)	86	36(1)	122

②障害支援区分 < () は内65歳以上の利用者>

	障害支援区分別						計
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	
わらび共同生活	0	3	2	11	13		29
べにしだ入所	0	0	4(1)	9(1)	13		26
べにしだ共同生活	0	1	12(1)	8	16		37
れいんぼう共同生活	1	3	6	14	6		30
計	1	7	24(2)	42(1)	48		122

(2) 月別利用状況

1) 日中活動（一日の平均利用状況：小数点以下切り捨て）

【わらび福祉園】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	270
生活介護(定員32名)	35	36	35	39	37	37	37	37	38	37	38	37	36
就労継続B(定員10名)	2	3	3	2	3	2	2	2	3	2	2	2	2

【べにしだの家】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	23	24	21	24	21	22	24	22	21	21	21	23	267
生活介護(定員70名)	65	64	66	66	65	66	65	64	65	64	64	63	64

【れいんぼうワークス】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	23	23	21	24	22	22	24	23	22	22	21	23	270
生活介護(定員20名)	22	21	22	22	22	22	22	22	21	22	22	22	22

2) 入所・共同生活援助（一日の平均利用状況：小数点以下切り捨て）

【わらび福祉園】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助(定員28名)	22	21	22	24	22	22	23	24	22	21	23	23	22

【べにしだの家】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
施設入所(定員30名)	24	24	24	24	23	24	24	24	24	23	24	24	23
共同生活援助(定員44名)	32	32	32	33	30	32	32	33	29	28	30	31	31

【れいんぼうワークス】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助(定員30名)	22	20	22	23	19	21	22	23	19	20	22	22	21

3) 日中一時・短期入所（月毎延べ利用者数）

【わらび福祉園】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員5名)	0	0	0	16	13	0	1	0	5	1	1	1	38

【べにしだの家】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員4名)	29	36	34	47	63	27	22	19	20	18	19	17	351
短期入所(定員2+空床)	150	162	167	180	163	171	169	184	158	155	174	161	1,994

【れいんぼうワークス】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員5名)	8	6	3	8	16	8	11	4	3	5	5	2	79

(3) 相談支援事業

【わらび福祉園】（延べ件数）

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
委託	基本相談	51	54	37	44	53	35	42	33	47	40	22	34	492
	自立支援協議会参加	7	4	7	11	7	17	10	9	7	7	6	3	95
	区分認定調査	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	5
特定	サービス等利用計画	6	5	4	1	1	0	2	3	4	3	0	5	34
	モニタリング	6	5	3	0	5	4	2	0	3	5	8	4	45
	個別支援会議	6	3	0	3	2	4	1	1	1	1	2	1	25
計		76	72	52	59	68	61	58	46	62	57	38	47	696

【べにしだの家】（延べ件数）

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
基本相談		64	66	91	92	94	83	92	85	69	85	87	73	981
サービス等利用計画作成		17	2	10	6	8	4	14	3	7	7	7	14	99
モニタリング		11	17	30	23	21	30	11	10	36	26	26	26	267
自立支援協議会参加		2	4	3	3	3	1	3	4	2	2	3	0	30
計		94	89	134	124	126	118	120	102	114	120	123	113	1377

(4) 居宅介護事業

【わらび福祉園】 月別利用人数（人） 年間売上 16,027,928 円（前年比-2,098,921 円）

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害福祉サービス		12	8	10	9	10	9	9	10	9	8	10	9	113
移動支援		57	57	55	56	54	51	57	54	55	52	54	32	635
小計		69	65	65	65	64	60	66	64	64	60	64	42	748

(5) 作業実績

1) 作業室別・業者別売上

* () 内は前年度増減比 / (単位:円)

【わらび福祉園】

第1作業室／単能盤による金属加工他		第2作業室／手作業で部品等の組付作業		第3作業室／焼き菓子の自主生産等		合 計
業 者	売 上	業 者	売 上	業 者	売 上	
村上製作所	3,303,407	三好化工	723,418	お祭り等	923,273	7,463,587 (-648,764)
ウェルギョ	357,366	IRT	1,330,262			
中部精工	119,177	イヌヨ製菓	330,200			
今池工業	170,702	自主製品	104,333			
みよし西一色区	10,000	ビサイドコーポレーション	51,049			
		らぼーる製本代	2,000			
		西三河セルプ	38,400			
	3,960,652(-760,260)		2,579,662 (-211,004)		923,273(+322,500)	
		アティックアート	80,000			80,000

【べにしだの家】

第1作業室／クリーニング・自動車部品検査		第2作業室／自動車部品検査		第3作業室／自動車部品組付		ゆう作業室 心身機能の維持増進
業 者	売 上	業 者	売 上	業 者	売 上	
クリーニング(一般他)	3,750,036	そうぎょう	978,410	三好化工	266,782	ゆう作業室 心身機能の維持増進
ケイアイ加工	29,600			タンゲ化学工業	52,312	
	3,779,636 (-362,478)		978,410 (-17,690)		319,094 (-17,643)	
あらわい作業室／箱折り・自動車部品検査		あらくさ作業室／製パン・自動車部品検査等		その他		合 計
業 者	売 上	業 者	売 上	業 者	売 上	7,886,279 (-380,592)
岩田紙器	330,585	製パン	1,433,338	ビサイドコーポレーション	16,278	
そうぎょう	153,870	その他作業	534,847	ラポール	1,000	
ケイアイ加工	142,813	餃子委託販売	125,480	ゴミ袋	5,470	
T&M	16,000	さをり織	23,700	自主製品販売	2,530	
ブリリアント	13,317					
アクティブ	9,911					
	666,496 (+49,326)		2,117,365 (-34,489)		25,278 (+2,382)	

【れいんぼうワークス】

第1作業室／クリーニング		第2作業室／部品等の組付・検品作業		第3作業室／農作物生産・販売		合 計
業 者	売 上	業 者	売 上	業 者	売 上	
信濃工業	56,050	そうぎょう	835,888	マザーキッチン	6,360	1,886,755 (-224,024)
中部三菱自動車	12,616	吉田段ボール	15,840	学童オーナー	20,000	
県・愛西市	64,246	三晃商会	164,446	法人内事業所	4,000	
輪中の郷	67,010	オクムラ	9,336	その他一般	85,620	
その他一般	267,827	ラポール	1,000			
		加賀悦商店他	14,076			
		刺繍製品	129,040			
		ダンボール製品	15,450			
		Tシャツ他	113,600			
		その他製品	4,350			
	467,749 (-380,929)		1,303,026 (+122,935)		115,980 (+33,970)	

2) 工 賃

	わらび福祉園	べにしだの家	れいんぼうワークス
令和元年度工賃支給総額	6,387,340	3,700,170	1,479,820
1人あたり支給月額 () 内前年比	12,097 (-120)	4,579 (-428)	5,362 (-783)
最高支給月額	39,143	14,480	7,670
〃 年額	485,242	142,620	84,790
最低支給月額	394	510	2,300
〃 年額	21,666	17,170	33,180

※年額には、年2回の賞与が含まれている。

(6) 各施設活動状況

わらび福祉園

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
5月	13～14日：郡上山の家合宿①（利用者10名） 20～21日：郡上山の家合宿②（利用者9名） 27～28日：郡上山の家合宿③（利用者11名）
6月	3～4日：郡上山の家合宿④（利用者14名） 8日：父親懇談会（父親17名） 30日：「みんなの運動会」（愛知学院大）（利用者29名・家族2名）
8月	10日：そうめんパーティー（利用者37名）
9月	13～14日：親子一泊旅行①（蒲郡方面/利用者40名・家族32名）
10月	12日：わらび秋まつり（台風のため1時間のみ開催）
12月	7日：支援者養成講座（初級/参加者7名） 14日父親懇親会（父親9名） 28日：納会（利用者36名）
1月	18日：きょうだい会
2月	22日：ホーム日帰り温泉（利用者26名）
3月	27日：親の会総会・28日：昼食会⇒新型コロナウイルス感染防止のため中止

その他：誕生会・親学習会・ブラッシング/約月1回 但し新型コロナウイルス感染防止のため中止の月も有

2) 健康管理

- ・健康チェック（看護師/毎週月曜日：体温・脈拍・血圧等/毎月第1月曜日：体重測定）
- ・予防接種（宇田クリニック/インフルエンザ希望者接種） ・口腔ケア（野々山歯科/毎月1回ブラッシング指導他）

3) 生活実習（プレホーム体験）

場所：わらび共同生活援助事業所

期 間	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	0	2	1	2	1	0	1	1	2	1	2	1	14

4) 家族との連携 *新型コロナウイルス感染防止のため中止の活動あり

- 学 習 会：全体を3班に分け、年に各班3回開催。
内容…<午前>法人関係者と話し合い・<午後>宇田ファミリークリニック医師を含めての話し合い。
- 個別相談：① 嘱託医相談 ② 随時個別相談に応じている。
- 自主活動：親の会を組織して活動するとともに、さわらび祭・わらび秋まつりのバザー出品のためにバザー班・フード班の2班に分かれ手作り品を製作して施設運営の援助にあたっている。園からの情報提供、親たちの自由な意見交換を行う場として「ラポールの会」を設けている。

5) 職員の活動

- 施設内各種会議の開催 *新型コロナウイルス感染防止のため中止の会議あり
 - ①スタッフ打ち合わせ
(毎日：日中-利用者帰宅後に本日のケース等確認・明日の予定確認等、グループホーム-利用者受け入れ前に日中よりの申し送り・シフト確認等)
 - ②ケース会議（随時：個別支援会議も含む）
 - ③全体会議（月1回：職員全員で運営方針検討・行事計画事業執行などを協議）
 - ④管理者系会議（月1回：園長・主任・主事・サビ管でその時々の指針等確認）
 - ⑤ホーム会議（月1回：共同生活事業所総合管理責任者・園長・世話人で生活事業所運営・行事等確認）
 - ⑥工賃査定会議（年2回：日中スタッフ）
- 法人主催で行われる職員全体研修、リーダー研修、ケースカンファレンスに参加した。
- 施設内研修
 - ・インシデント・プロセス法によるケース検討会：小野 宏 Dr.
<4月12日・5月10日・6月7日・7月12日・9月10日・11月8日・12月13日・1月10日・2月14日>
共同生活援助事業所及びヘルパーステーションのスタッフを中心に参加。他事業所からの参加
 - ・事例検討研修等：小林信篤氏（横浜やまびこの里）
<6月28日：29名/8月31日：23名/1月25日：23名>
- みよし市障がい者自立支援協議会・知的障害者福祉協会
社会福祉協議会等が主催する研修会にスタッフ・参加者として参加。

*新型コロナウイルス感染防止のため参加予定であったが中止の研修あり、参加した研修のみ

中堅研修（6月：3名内スタッフ2名）／東海地区知的障害者関係施設職員等研究協議会（7月：浜松2名）
 社会福祉法人主任・係長講座（7月：大阪）／全国知的障害者関係施設長等会議（7月：横浜1名）
 リーダー研修（8月：三重3名内スタッフ2名）／全国グループホーム等研修会（8月：千葉2名）
 東海地区知的障害者関係施設長等会議（9月：1名）／初任者研修（9月：スタッフ1名）
 全国知的障害者関係職員研修大会（10月：鹿児島2名）／日本GH学会全国大会（11月：東京2名）
 朗務ゼミナール（11月：東京1名）／地域支援セミナー（11月：千葉2名）
 県大会（12月：3名内スタッフ2名）／日中活動支援部会全国大会（12月：北海道2名）
 久留米コンソーシアム会議（1月：1名）／スタディツアー（2月：長野2名内スタッフ1名）

6) 学生等の実習受け入れ等

a. ボランティアの受入状況（わらび秋まつりに対し、多数のボランティアが参加予定であったが台風のためキャンセルした）

(延べ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3

b. 実習・見学等

(延べ人数)

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習		0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
小・中・高生体験学習		0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10
大学・専門学校等実習		0	0	22	9	0	25	63	24	4	0	1	0	148
見学者		0	0	1	3	1	0	1	0	0	1	0	0	7

※体験・実習校……東海学園大学、名古屋女子大、椋山女学園大、三好北中学校

c. 地域交流 イベントの開催：わらび秋まつり／地域のお祭りへの参加：三好下区祭・産業フェスタみよし

7) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応

※生活場面で起こる様々なリスクの可能性も予測しつつ、引き続き積極的な報告提出を奨励している。

積極的な報告ができるよう31年1月よりヒヤリ・ハット報告書の様式を変更。

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連		1	2	2	3	0	0	1	0	0	0	0	0	9
転倒・転落・衝突		1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
自傷		0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
他害・物損		0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	5
放置		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し		0	4	1	1	0	2	1	0	1	1	0	2	13
異食・誤嚥		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浴室内の危険		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体拘束		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他不適切対応		0	2	2	3	0	0	3	0	0	0	0	1	11
計		2	9	12	9	1	2	5	0	1	1	1	5	48

べにしだの家

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
4月	13日：うま 20日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー 24日：利用者健康診
5月	11日：うま/第35回きょうだい会（7名） 18日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー
6月	1日：うま/有期職員研修 8日：第50回自立をすすめる会（16名） 15日：土曜活動/うま（雨天中止）/あらくさパンバザー 29日：らいぶ游
7月	6日：うま（雨天中止） 20日：土曜活動/うま（雨天中止）
8月	3日：うま（猛暑のため利用者不参加） 10日：家族交流会 11～14日：夏期休日 18日：土曜活動/うま（（猛暑のため利用者不参加）/あらくさそうめんパーティー 24日：らいぶ游
9月	3～4日：あらくさ一泊旅行（長浜：利用者5名） 14日：うま 21日：土曜活動/うま（雨天中止）/あらくさパンバザー

10月	5日：うま 19日：土曜活動/うま（雨天中止）/あらくさパンバザー 23日：利用者健康診断
11月	2日：べにしだ祭 9日：うま 16日：土曜活動/うま/あらくさバザー/第51回自立をすすめる会（17名） 26～27日：あらくさ泊旅行（山の家：3名）
12月	7日：うま 13日：母親懇親会 14日：うま 21日：クリスマス会/あらくさパンバザー 22日：らいぶ游 27日：納会・御用納め 28～31日：年末休暇
1月	1～5日：年始休暇 6日：仕事始め 11日：うま 18日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー
2月	1日：うま 6日：あらくさいチゴ狩り（利用者11名） 13～14日：オプションルツアー泊旅行（滋賀方面：31名） 15日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー 22日：らいぶ游 29日：べにしだきょうだい会（新型コロナ状況により中止）
3月	7日：うま（新型コロナ状況により中止） 21日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー（新型コロナ状況により中止） 25日：あらくさ日帰り旅行（新型コロナ状況により焼肉会に変更：2名）

2) 健康管理

- * 血圧・体重測定（看護師）/随時
- * 健康相談（村上医院）/毎月1回
- * インフルエンザ予防接種（村上医院）/希望者接種
- * 健康診断（名古屋公衆医学研究所）/入所年2回・通所年1回
- * 訪問歯科診療（えびす歯科）/毎週金曜日
- * PT訪問（たわだリハビリクリニック・リハプロ訪問看護ステーション/利用者9名）

3) 生活実習（プレホーム体験）*R元年度は実施なし

4) 家族との連携

- a. 家族会（毎月1回）
- b. 家族懇談会（利用サービス別に5班で構成し、1班あたり年2回実施。）
- c. バザー活動（2班で構成し、月に1回ずつ活動。新型コロナ感染拡大の影響で3月中止）
- d. 清掃当番活動（1回1名で生活棟の清掃。1ヶ月平均10日程度。新型コロナ感染拡大の影響で3月中止）
- e. 自立をすすめる会（年2回開催。父親同士が集まる活動を通して父親、職員相互の信頼と共感を深め、施設と協力して生涯の援助体制を確立していくために、事業の報告や障害者福祉の動向などについての学習と親睦の場として実施。）
- f. 母親懇親会（年1回開催。日常的な交流機会が減少しつつある中、母親との親睦をより深めていくために実施。）
- g. 特定非営利活動法人「蒼の会」との情報交換（会議への参加及び被後見人4名の生活状況の情報交換を定期的に実施。）

5) 職員の活動

- a. 各種会議
 - ① 毎日始業前の朝会（夜間の申し送り、一日の予定確認、指示事項等）
 - ② 生活棟会議（南・北棟別に月1回開催）
 - ③ 作業室会議（月1回各作業室のケース、作業状況の情報交換、課題整理）
 - ④ ホーム担当者会議（各ホームの情報交換、課題整理）
 - ⑤ リーダー会議（毎月1回、各部署のリーダーで総体的な情報共有、課題検討、調整）
 - ⑥ 虐待防止委員会（毎月1回ヒヤリハット・事故・不適切対応報告書の整理と防止意識の共有）
 - ⑦ ホームスタッフ会議及び本体スタッフ会議（毎月1回、決定事項の確認、伝達、情報交換、ケース検討等）
 - ⑧ 給食会議（毎月1回、委託業者との情報交換、課題検討、調整）
- b. 法人主催で行われる職員全体研修、経験年数別研修、ケースカンファレンスに参加
- c. 施設内研修
 - 権利擁護・虐待防止（4/26:13名）/ホーム新人研修（5/11:11名）
 - 発達障害に対する環境整備（5/24:10名）/有期職員研修<①（6/1:18名）・②（12/7:13名）>
 - コミュニケーションスキル<①（6/20:14名）・②（11/30:15名）>
 - インシデントプロセス<①（6/25:7名）・②（11/26:8名）・③（3/24:新型コロナにより中止）>
 - 発達障害対応研修<①（6/29:15名）・②（8/30:16名）・③（1/25:11名）>
 - 救命救急研修<①（7/26:15名）・②（9/13:11名）・③（9/27:10名）>
 - 感染症対策研修（11/22:11名）/今後の生活介護の方向性（1/24:14名）
- d. 施設外研修
 - 福祉協会、名古屋市、名障連、社会福祉協議会等が主催する研修会への参加
 - 全国知的障害関係施設長等会議（7月:横浜・1名）/東海地区知的障害者関係施設長等会議（9月:1名）

全国知的障害福祉関係職員研究大会（10月：鹿児島・1名）／県協会職員研究大会（12月：名古屋・3名）
 その他：権利擁護・障害者虐待防止関連の研修（2名）／グループホーム学会全国大会（1名）等

6) 地域との交流・学生等の実習受け入れ等

a. ボランティアの受け入れ状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
べにしだ	16	21	9	1	1	10	14	37	16	16	20	1	162
あらくさ	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3

b. 実習・見学

(延べ人数)

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習		0	0	5	13	23	0	5	5	0	5	0	0	56
小・中・高生体験学習		0	0	0	1	21	0	12	3	8	13	4	0	62
大学・専門学校・社会人等実習		0	0	0	27	52	71	57	57	31	14	40	48	397
見学者		0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	8
		合計												523

※体験実習校・施設…同朋大学、日本福祉大学、岡崎女子大学、岡崎女子短大、東海医療科学専門学校、東京福祉大学、海翔高校、西陵高校、豊正中学校、港南中学校、神の倉中学校

※その他実習・研修…名古屋市新規職員研修、ヘルパー現任研修、(株)エーザイ社内研修
 (株)子ども達の未来創造事業グループ社員研修

c. 地域交流等

①らいぶ・ゆう

参加者種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害児・者				8		2				8		9		27
利用者家族				3		2				2		2		9
スタッフ				18		27				27		19		91
地域				35		29				26		65		155
その他				3		0				3		2		8
出演者				31		25				22		53		31
参加者計				98		85				88		150		438

②中村区民祭…10月27日（中村公園一帯） ③地域福祉講演会…1月12日（中村区役所講堂）

7) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応(ホーム加える)

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連		0	1	3	0	0	2	2	2	0	0	1	0	11
転倒・転落・衝突		0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	5
自傷		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
他害・物損		4	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	9
放置		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
異食・誤嚥		0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
浴室内の危険		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体拘束		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
その他不適切対応		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		5	3	3	2	1	3	5	2	2	0	5	1	32

※ 書面による報告件数自体は前年度の半分以下に減少した（前年度71件）。毎回多くの割合を占めていた服薬関連は34%（前年度41%）。

※身体拘束は①食事中高揚し、箸で向かってきた短期入所利用者の行動を抑制するため ②作業中高揚して自傷がエスカレートした利用者の安全確保のため にやむを得ず実施したもの。

れいんぼうワークス

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
5月	11日：きょうだい会（きょうだい2名） 26日：第17回れいんぼう祭（ボラ 57名）
6月	15日：自立の会（父親19名母親1名） 21日：パートスタッフ研修（参加者18名） 26～28日：山の家合宿①（利用者9名）
7月	3～5日：山の家合宿②（利用者8名） 10～12日：山の家合宿③（利用者7名） 27日：支援者養成講座（参加者9名）
8月	10日：家族交流会（利用者23名と家族35名） 11～15日：夏期休暇
10月	4～5日：一泊旅行／大阪京都方面（利用者24名）
11月	15日：海部津島地域福祉作業所連絡協議会交流会（利用者22名）
12月	28日：納会
1月	6日：仕事始め 11日：初詣（土曜活動） 18日：自立の会（父親17名母親1名）
2月	26日：ホーム見学会（参加者：12名） 29日：ホーム見学会（参加者：3名）
3月	7日：ホーム見学会（参加者：2名）

2) 健康管理

- *健康チェック（看護師／週2回：体温・体重測定記録の確認及び健康相談） *予防接種（加賀医院／インフルエンザ希望者接種）
- *健康診断（年1回） *ブラッシング指導（愛西市の歯科衛生士による指導／年4回）

3) 家族との連携

- a. 保護者会および研修：保護者会は毎月1回開催。母親学習会は年3回開催。
- b. 個別相談：嘱託医相談は予約により時間調整して行うよう計画。その他利用者の状況に応じて随時個別相談に応じている。
- c. 自主活動：親の会を組織して活動するとともに、れいんぼう祭のバザー出品のために手作品を製作して施設運営の援助にあたっている。
- d. 自立の会（28年度より虹の会と一体になる）：父親同士が集まる活動を通じて、父親、職員相互の信頼と共感を深め、施設と協力して生涯の援助体制を確立していくために、障害者福祉の動向などについての学習と親睦の場として実施。

4) 職員の活動

- a. 施設内においては、①毎日作業終了後の打合会、②随時行うケース会議、③運営方針の確認・行事計画・事業執行などを協議する職員会議（月1回）④個別支援計画・モニタリング作成のアセスメントおよび計画策定会議を実施した。
- b. 法人主催で行われる職員全体研修、新人研修、ケースカンファレンスに参加した。
- c. 施設内研修として、横浜やまびこの里より小林信篤先生を講師にお招きし、年間3回の事例検討研修を行った
- d. 知的障害者福祉協会・社会就労センター協議会・社会福祉協議会等が主催する研修会に参加した。
新規採用者研修（6月：2名）／中堅研修（6月：1名）／全国施設長会（7月：1名）
権利擁護セミナー（8,9,10月：1名）／海部地域GH研修（7月：4名）
東海地区大会（9月：1名）／全国GH研修会・千葉（8月：1名）／リーダー研修（8月：1名）
サビ管研修（9,10,11月：1名）／初任者研修（9月：1名）／困難事例対応研修（9月：1名）
日知協全国大会・鹿児島（10月：1名）／グループホーム学会全国研修（11月：1名）
リーダー研修Ⅱ（11月：1名）／地域共生社会推進セミナー（12月：1名）
BCP策定推進研修会（12月：1名）／サビ管更新研修（12月：2名）
愛知県知的障害施設職員研修（12月：1名）／海部地域GH研修（1月：5名）
第4回自然栽培パーティ全国フォーラム（1月：2名）／農業版ジョブコーチ研修（2月：1名）
アメニティーフォーラム（2月：1名）／日中活動支援部会研修（2月：1名）
みんなのわ福祉事業所セミナー（2月：2名）

5) 地域との交流・学生等の実習受け入れ等

ボランティアの受け入れ及びれいんぼう祭、畑などの野外活動を通して地域住民との関係も深まり、声をかけられたり、見守ってもらえる環境が増えてきている。今後も野菜販売の機会などを通して近隣の方々とふれあいをもち、町内会の諸活動での施設の開放も働きかけていきたい。

a. ボランティアの受け入れ状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	6	59	8	10	23	13	20	11	14	5	6	18	193

b. 実習・見学等

(延べ人数)

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	0	13	17	0	0	0	0	0	0	0	30
小・中・高生体験学習	0	0	0	0	27	0	16	4	0	0	0	0	47
大学・専門学校等実習	0	0	0	0	0	33	16	16	22	0	0	0	87
見学者	0	4	2	2	0	1	0	19	6	2	11	6	53

※体験・実習校・・・愛知教育大学、明星大学、日本福祉大学、海翔高校

c. イベントの開催 第17回 れいんぼう祭（5月26日）

6) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
他害・物損	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
放置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
転倒・転落・衝突	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
その他不適切対応	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
計	0	0	3	0	0	2	2	0	0	0	0	1	8

※ 生活場面で起こる様々なリスクの可能性も予測しつつ、引き続き積極的な報告提出を奨励している。

※ 10月の見逃しは、一泊旅行先のテーマパークで利用者を見失ってしまったこと。職員間の連携ミスが原因だった。9月の不適切対応は利用者の持ち物に許可なくマジックで大きく名前を記入したというもの。どちらもご本人とご家族に対面での説明、謝罪を行い、再発防止を職員間で徹底した。